

平成27(2015)年度 運営に関する計画最 終評価シート

生活指導部

評価基準 A：目標を上回って達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった

B：目標どおりに達成した
D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【道徳心・社会性の育成】</p> <p>○自尊感情を高める。 ○規範意識を育てる。</p>	C (カリキュラム改革関連) (カリキュラム改革関連)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【自尊感情の育成】ピアサポートを学校行事や学級経営に取り入れる (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 校内の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について(あてはまる・どちらかというとあてはまる)と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	C
<p>取組内容② 【規範意識の育成】「オアシス運動」を充実させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 校内の児童アンケートで「学校の約束」について、次の項目で(できている・どちらかというとできている)と答える児童の割合を80%以上にする。 「自分から進んで挨拶をしている」H26 72%から8%上回る。(今年度73%) 「学校のルールやマナーを守っている」H26 74%から6%上回る。(今年度79%)</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<ul style="list-style-type: none"> 規範意識…目標には届かなかったが、数値は前年度よりも上回っている。 挨拶…目標には届かなかったが、この1年に様々な取り組みを行ってきた。挨拶の習慣化ができつつある。 自尊感情…目標に大きく届かなかった。取り組みごとに振り返りやまとめができなかった。

次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none"> 規範意識や挨拶については、現状の取り組みを継続して実施していく。 掲示物で意識づけをすることや、有志によるあいさつ運動の実行などで、さらに意識を向上させることができる見込みがあると思われる。 ピアサポート活動は各学年で取り組むことはできていた。6年生から他学年に対するピアサポート活動や5年生の就学時健康診断の付添、1年生のわくわくスタートやニコニコ集会などを継続する。 アンケートによる評価のタイミングや手応え感覚(ポジティブ感情)をとらえるパフォーマンス評価を導入する。